



徳島県女性医師復職研修支援事業

令和4年度

医学生・研修医等をサポートするための会

— 知ってみよう！

聞いてみよう！

今ある徳島の働き方



令和4年11月25日（金）19時30分
徳島県医師会館・WEB配信

出席者（役員・委員）

齋藤会長、今井副会長、岡田委員長、齋藤誠一郎副委員長、谷副委員長、坂東委員、多田津委員、猪本委員、赤池委員、漆川委員、佐々木委員

1 行政・大学・医師会の取り組みについて

島県保健福祉部医療政策課

地域医療・医師確保担当 飯富大介係長

女性医師等の支援として、女性医師の復職支援、保育施設を運用する事業を助成することによる子育て支援、若手医師が県外等で研修する経費を補助するキャリア形成支援をあげ、医師確保の取り組みも紹介した。

(2) 徳島大学AWAサポートセンター長

德島大学病院病理部

副部長・教授 坂東良美先生
女性研究者上位職登用制度など、切れ目のない支援による女性研究者の定着と増加・登用を推進する8つの取組を紹介した。

(3) 徳島県医師会 男女共同参画委員会 委員長

岡田博子先生

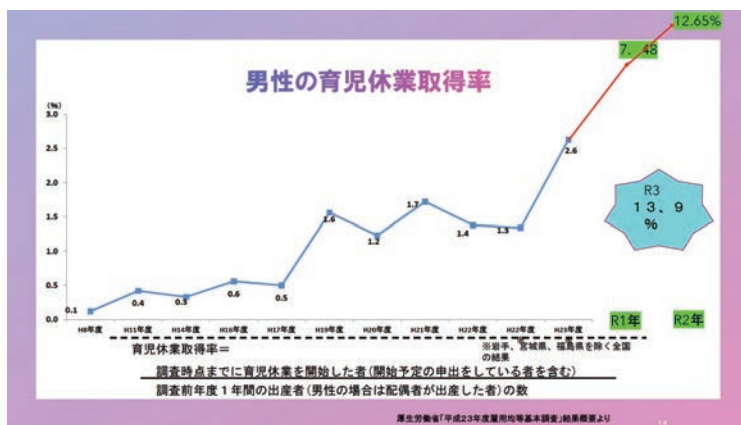
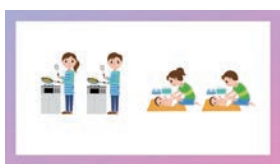
支援事業、結婚支援、イクボス（部下の育児参加に理解のある上司）の啓発を紹介した。子育て一段落世代、60歳以上の世代の再就労を支援することにより、男女ともに全ての個人が仕事を継続し、能力を発揮するという理念を発表した。

2グループセッション(19時30分〜20時10分)

WEB上で4グループに分かれて話し合った。

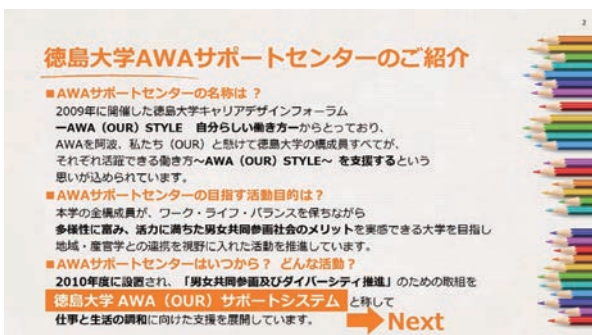
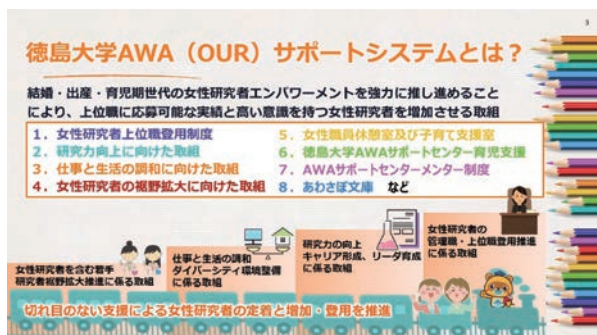
医師のキャリア形成、初期研修、地域医療の現場についてなど医学生の方々から、研修医や上級医、徳島県担当者に対して活発な質問があった。

3 全体ディスカッション(20時10分～20時30分)
各グループの代表者から、セッション内容について報告。徳島県の取組に対して、知らなかったという意見があった。多数の先生に参加いただき盛会となった。

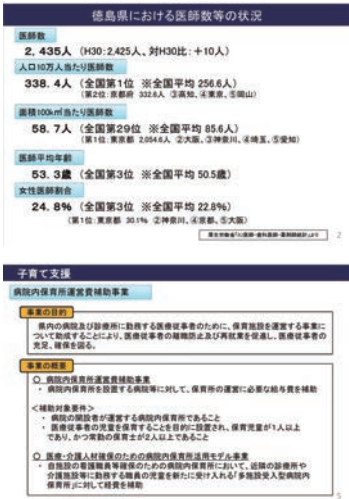
資料
医師会の取り組み

資料

徳島大学AWAサポートセンターサポート活動



立場は違っても
みんな同じ目標に向かってい
ることを忘れないで



資料
徳島県の取組について

サポート内容や支援制度の詳細は
AWAサポートセンターのホームページ
に掲載しています。
下記のURLまたはQRコードから
ご覧ください。

徳島大学AWAサポートセンター
〒770-8503 徳島市蔵本町3-18-15
TEL: 088-633-7538 FAX: 088-633-7572
E-mail: awa@tokushima-u.ac.jp
URL: http://www.awasapo.tokushima-u.ac.jp

QRコード

お問い合わせ、お気軽にお越しください。

AWAサポートセンター

5. 徳島大学女性職員休憩室及び子育て支援室

女性職員が継続して働きやすい環境づくりを推進するため、各キャンパスに女性職員休憩室兼子育て支援室を設置し、教職員及び地域の方にもご利用いただけるキッズルームを整備しています。
利用目的 | 女性職員の休憩及び夜間等休養管理、授乳・哺乳、一時預かり保育場所等

●徳島大学蔵本キャンパス
女性職員休憩室兼子育て支援室 Rococo
休憩・一時預かり保育室
授乳・哺乳室
多目的トイレ (幼児・学童用)

●徳島大学三島キャンパス
女性職員休憩室兼子育て支援室 Rococo II
休憩・一時預かり保育室
授乳・哺乳室
地域連携プラザ
あそび場キッズルーム

今年度もオンラインの開催とし今井副会長の挨拶の後、研修医から将来の子育てやキャリアアップに関する質問が相次いだ。各医師から、実体験を元にしたアドバイスが語られた。その上で、結婚や出産などのライフイベントは、事前の計画通りに行かない時も多いので、その場その場で決断を迫られるとの意見が多かった。男性医師からは、男女に関わりなく育児に参加すべきという意見があった。他大学では、男性の育児取得もすすんでいるが、その際には男性医師の上司の理解が必要であるという発言があった。職場が異動になると、雇用契約によっては、育児休暇取得が困難になる事例も報告された。また、職場に女性医師専用ルームがあるか、院内保育が完備されているかなど、各病院での女性医師の労働環境に関する情報を集める必要性

出席者(役員・委員)
今井副会長、岡田委員長、斎藤誠一郎副委員長、坂東委員、高須委員

令和5年1月22日(日) 10時00分
徳島県医師会館・WEB配信

今後の女性医師
支援活動について
オンライン交流
座談会

令和5年1月22日(日)10:00～
申込締切: 令和5年1月13日(金) 18:00
申込先: 徳島県医師会 女性医師支援センター
お問い合わせ: 事務局 088-622-0254

参加申込書
令和5年1月22日開催の座談会に参加します。

FAX 088-623-5679

「今後の女性医師
支援活動について」

令和4年度 オンライン交流座談会

座談会
女性医師等就労支援事業

事業の目的
県内医師会に所属する女性医師への就業支援や研修機会の提供、キャリアアップの支援を行う。

事業の概要
Q. 女性医師等就業支援事業(県医師会へ委託)
A. 県医師会(コーディネーター)を通じて、就業支援や研修機会の提供、キャリアアップの支援を行う。

Q. 就業支援(県医師会へ委託)
A. 女性医師の就業支援や研修機会の提供、キャリアアップの支援を行う。

Q. 就業支援(県医師会へ委託)
A. 女性医師の就業支援や研修機会の提供、キャリアアップの支援を行う。

Q. 就業支援(県医師会へ委託)
A. 女性医師の就業支援や研修機会の提供、キャリアアップの支援を行う。

キャリア形成支援
地域医療従事者研修支援事業

事業の目的
県内の医療機関に所属する若手医師が、県外又は県内の先進的な医療機関等に就くためのキャリア形成支援を行う。

事業の概要
Q. 地域医療従事者研修支援事業(県医師会へ委託)
A. 県医師会(コーディネーター)を通じて、就業支援や研修機会の提供、キャリアアップの支援を行う。

が語られた。
多数の先生にご参加いただき、最新の情報交換ができた。

令和4年度
女性医師支援・ドクターバンク連携
中国・四国ブロック会議

出席者(役員・委員)
森副会長、今井副会長、岡田委員長、斎藤誠一郎副委員長、加藤真介委員

開会挨拶
広島県医師会会長 松村 誠先生
日本医師会副会長 角田 徹先生

日本医師会女性医師支援センターからの報告事項について

日本医師会常任理事 神村裕子先生

令和6年度からの医師に対する時間外労働の上限規制の適用開始に向け、医師の働き方改革を進めている。就業医師数を確保するため、また令和3年度に改正された育児・介護休業法に基づいて男女ともに育児休業取得を促進させ、女性医師の更なる就業支援を図りながら、男性医師も含めた人材確保に向けて取り組んでいる。令和5年度においては、都道府県医師会等が独自で持つ医師バンクシステム等の連携や、女性医師支援センター事業の拡充により、幅広い全国的な就業支援体制の強化を図り、女性医師を中心にライフイベントとキャリアの両立を支援することを目的として事業を行う。

議題及び質疑応答

医師のキャリア支援と医師確保の取り組み

※医師会としての支援※

① 世代別キャリア支援の検討(勤務する医師側への支援)

各県行っているが、女性の働きやすい環境を整えるために施設を作ったり、支援・送迎等行ったり、費用を負担したりしている。これからの医師会を担う、大学・勤務医・研修医・医学生との意見交換、情報交換も重要。



世代別キャリア支援の検討
(徳島県医師会)

【子育て世代への子育てしながら、キャリアを重ねる「両立」の支援】

- ① 大学内、医局ごと・職場に女性休憩室を設ける
- ② 子供を預け、保育現場をみえる環境での会議など
- ③ 学内・職場内の一時預かり保育所・病児・病後・緊急保育(登録制)
- ④ 学童保育・長期休暇時一時預かり保育
- ⑤ シッター契約・マッチングのお手伝い(年会費:医師会が全額負担・保育料・シッター料:医師会が一部負担)

【育て一段落世代への育休再開にあたっての「再研修・再就労」の支援】

- ① 研究中断3年以内の復帰者・研究者にスタートアップ研究費助成
- ② 不足する小児科、産科、外科として勤務する医師の研修支援に「専門医研修資金貸与事業」
- ③ 女性医師復職研修支援事業(再就業医療機関情報等)

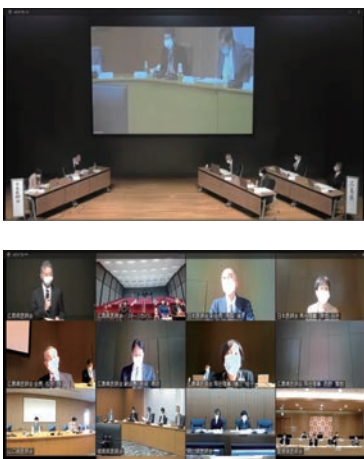
【60歳以上の再就労支援】

- ① 60歳以上の医師数・氏名・就労状況を把握
- ② 新型コロナウイルス感染症に対する入院調整本部(コロナ陽性在宅療養患者への電話サポート)での勤務や医師の少ない地域への応援診療の依頼・マッチング

医師会の役目

支援が必要な世代、学生様にも、支援内容を周知すること

資料
世代別キャリア支援の検討



② 保育サポート支援の検討
中四国では2県、山口県と広島県が保育サポーター事業を行っているが、保育士の確保、保育の質の担保が難しいとのこと。復職に関しての助成金、ドクターバンクの活用など、各県にあった取り組みを検討することが重要。

③ 医師確保支援の検討(求人医療機関側への支援)
各県によって地域の実情が異なる。地域ごとに人口構成も違っている。例えば60歳以上の再就職の条件も違ってくる。60歳以上の医師の増加、医学部への女性の増加なども今後の課題である。各県医師会と女性医師バンクとの連携を進めていくことは、医師確保の上で大変重要であるため、各県の現状を把握するよう今後アンケートを実施予定。

私たち男女共同参画委員会では、皆様に「働きやすい環境づくり」のための情報を「Letter」により発信しております。
昨年11月25日には「知ってみよう!聞いてみよう!」今ある徳島の働き方」をテーマとした座談会を開催いたしました。行政(徳島県保健福祉部)、大学(AWAサポート)そして県医師会からそれぞれ徳島での今現在の取り組みを紹介いたしました。

徳島県は、人口10万人当たりの医師数は338.4人(全国1位)にもかかわらず、面積100㎡当たりの医師数は、58.7人(全国29位)と低いのです。ご存じかもしれませんが東部医療圏に医師が集中し、西部・南部では、まだまだ医師不足と言えます。また女性医師の割合は24.8%(全国3位)です。国家試験合格者も3割が女性医師、医学部入学者も女性が5割という時代になりました。しかしながら女性の就業率は30歳〜39歳で男性に比較し、下がります。その理由は出産、子育てのためです。対策として増えていく女性医師の勤務環境を整えることが医師数の確保に繋がると考えます。男性の育児休業率も国の目標は2025年までに30%ですが、2021年13.9%と、まだまだ低い数字です。達成するためには、上司の理解が必要です。

【世代別キャリア支援の検討】の図をご覧ください。他県もいろいろ工夫をされておりますが、徳島県ではこのような支援をしております。青文字の①②は「希望・要望」です。行政、大学AWAサポート、そして県医師会が連携をしながら、皆様方が目標に向かって何度でもチャレンジしていただけるよう、夢に向かってあきらめることがないよう真摯に取り組んでまいります。その他「病児保育所の一覧」、「改正された男性の育休のシステム」、「医師資格証のこと(これなしではONLINE診療はできません)」など、新しい情報も発信しています。疑問に思うこと、悩んでいらっしゃるものがあれば気兼ねなくお尋ねください。皆様方個々に置かれた環境が違っているので、多様性を認めよう環境整備が大切だと考えております。

令和5年1月22日に、徳島でどのような支援があれば男女とも働きやすい環境づくりができるか、率直なご意見を聞かせていただきたく、「オンライン交流会」を開催しました。

引き続きこのような機会を設けたいと思います。どうぞ皆様、ご参加いただきご意見をお聞かせください。

男性も女性も共にお互いを尊重し、そして、一緒にがんばりましょう。